

# 【kUTMみまもりサポート】 契約者管理コンソール利用マニュアル

株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ

# 1. 概要

- ❑ Cloud Edge Cloud Console(以降CECC)は、開通時にメールにて送付したID/Passを利用してログインすることにより、専用BOX(Cloud Edge)の脅威の検知状況および、アプリケーション利用制限・URL指定によるアクセス制御機能等のポリシー設定機能の検知状況をお客さまご自身で把握いただくことができます。

## CECCのトップページ



### ① メニューバー

- **ダッシュボード**：CECCのトップページ。セキュリティ機能の状況や、Cloud Edgeを通過したトラフィックに関する統計情報が表示されます。
- **ゲートウェイ**：機器のインターネット接続状況や、インターフェースの状況等を知ることができます。
- **ポリシー**：ファイアウォール機能やアプリケーション利用制限機能、URL指定によるアクセス制御機能の設定状況を知ることができます。

#### <注意>

・設定変更が必要な場合には、セキュリティサポートデスクまでご連絡くださいますようお願い致します。  
・お客様自身で設定変更をされた場合、KDDIウェブコミュニケーションズにてお客様の設定状況を把握することができないため、故障時等の際に元通りの設定で復旧することが困難となります。

- **分析とレポート**：セキュリティ機能や上記ポリシー機能の動作ログの閲覧およびダウンロードやレポートのダウンロード等ができます。
- **管理**：ライセンスやファームウェアのアップデートに関する情報を知ることができます。

## 2. ログイン方法

- ❑ 開通時に、メールにて送付したURLに対してID/Passを入力いただくことによりLicensing Management Platform(LMP)に対してログインすることができます。
- ❑ ログイン後、画面右側の「コンソールを開く」をクリックいただくことにより、CECCにログインすることができます。

今すぐ登録' (If you haven't yet acquired an account, [register now](#)). An orange box highlights the login form fields, and a red arrow points from this box to step 1 of the instructions."/>

登録情報を入力してください

アカウント:  
[ ]

パスワード:  
[ ]

[パスワードのリセット \(パスワードをお忘れの場合\)](#)

アカウント名を記憶する

アカウントをまだ取得していない場合 [今すぐ登録](#)

- ① ブラウザを開いてお客様管理コンソールにアクセスします。「アカウント」「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。

※ お客様管理コンソールのURLおよび「アカウント」は、「新規アカウント発行のお知らせ」メールに記載。  
「パスワード」は、「新規アカウント発行のお知らせ」メールにて、お客様ご自身で設定する必要があります。

TREND MICRO Licensing Management Platform Powered by TREND MICRO

ようこそ: Demo100No33Time1 | ログアウト

登録済みの製品/サービス ユーザ登録情報 サポート情報

登録済みの製品/サービス

+キーの入力

サービスプラン名	製品/サービス	シート/ユニット	ライセンス種別	開始日	有効期限	アクション
【トライアル】 Cloud Edge 100	Cloud Edge100	1 シート/ユニット	製品版	2017/06/19	自動更新	<input type="button" value="コンソールを開く"/>

● 有効期限内 ⚠ 間もなく期限切れ ✖ 有効期限切れ

- ② 「コンソールを開く」をクリックします。
- ③ 2ページに示したCECCのトップページに遷移します。

# ダッシュボードについて

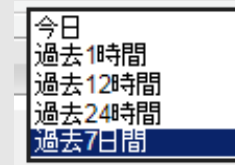
# 3. ダッシュボードについて

- ダッシュボードには、**セキュリティ機能の検知状況**や、**Cloud Edgeを通過したトラフィックに関する統計情報**をグラフで表示されます。
- **ウィジェットの追加**を選択し、どのようなグラフを表示させるか、お客さま自身で選択いただくことができます。



## ① セキュリティステータス

- Cloud Edgeが保持する各セキュリティ機能毎の検出件数に関する情報をグラフ化し、表示
- 各エリアのプルダウンを選択し、グラフ化する時間間隔を選択可能（過去7日間まで）

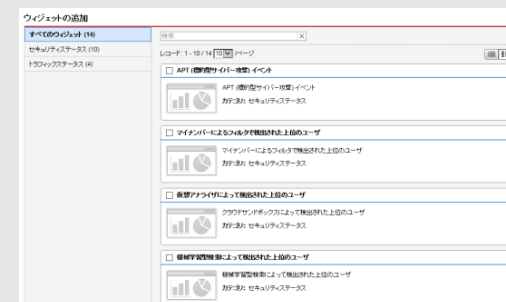


## ② トラフィックステータス

- Cloud Edgeを通過したトラフィックに関する情報をURLカテゴリやアプリケーション、帯域情報毎にグラフ化し、表示

## ③ ウィジェットの追加

- ウィジェットの追加により、表示したいグラフを選択することが可能



# 分析とレポート

- アプリケーション帯域幅
- ポリシー施行
- インターネットアクセス
- インターネットセキュリティ

# 分析とレポートの概要

- ❑ 分析とレポートには、ログ分析機能とレポート出力機能があります。
- ❑ ログ分析機能には、4つのメニューがあり、各メニューでは、機能毎の検知ログを閲覧およびダウンロードができます。
- ❑ レポート機能では、お客さま自身でレポートの生成およびダウンロードができます。

## 「分析とレポート」のトップページ



### ① ログ分析機能

- **アプリケーション帯域幅**：社内の端末（IPアドレス毎）、アプリケーション毎に、利用した帯域幅（通信速度）の状況を知ることができます。
- **ポリシー施行**：URLによるアクセス制御機能や、アプリケーション指定によるアクセス制御機能によって、アクセスをブロックした件数や日時、アプリケーション/URL名、アクセスを試みたIPアドレスの情報等を知ることができます。
- **インターネットアクセス**：Cloud Edgeを経由してアクセスしたURLに関するカテゴリ毎やIPアドレス毎の統計情報を知ることができます。  
※アクセスURLそのものは閲覧できません。
- **インターネットセキュリティ**：不正プログラム対策機能やIPS機能等、各セキュリティ機能がブロックした脅威に関する情報を知ることができます。

### ② レポート機能

- 月に1回送信させていただいているレポートをお客さまご自信でダウンロードいただくことができます。（期間の指定なども可能）

# アプリケーション帯域幅

- ❑ 「アプリケーション帯域幅」では、社内の端末（IPアドレス毎）、アプリケーション毎に、利用した帯域幅(通信速度) の状況を知ることができます。
- ❑ 各メニューを利用することにより、グラフ形式の変更や、フィルタ設定が可能となります。



## ① グラフ形式選択メニュー

画面上に表示するグラフの形式を下記から選択可能

- ・ 折れ線グラフ
- ・ 棒グラフ
- ・ 円グラフ

## ② グラフの縦軸を選択するためのメニュー

下記の4つの項目毎にグラフを生成可能

- ゲートウェイ名
- ユーザ名
- クライアントIP
- アプリID

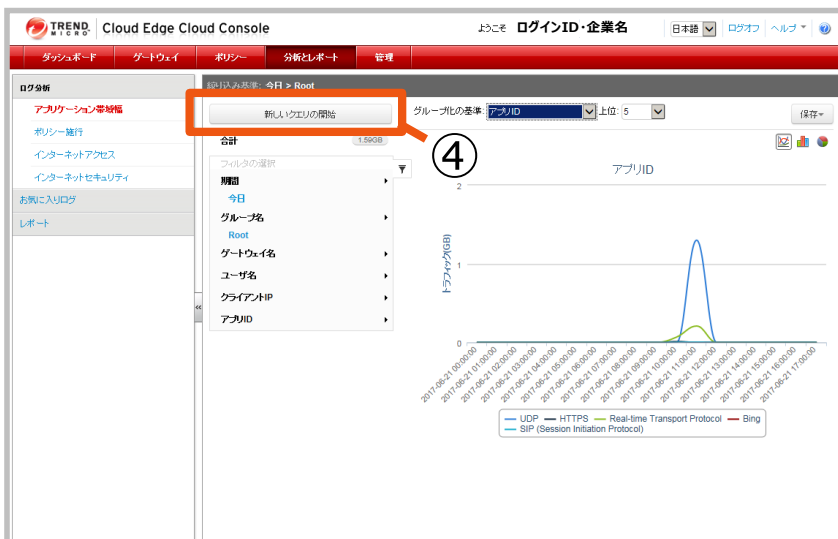
## ③ フィルタ設定メニュー

生成するグラフは、選択した項目でフィルタをかけることが可能  
例) グラフ化する期間を選択



## ④ 新しいクエリの開始

これまでのログをクリアし、新たにログの取得を開始  
(現在表示されている情報は消去されます)



# ポリシー施行 1/2

- ❑ 「ポリシー施行」では、URL指定によるアクセス制御機能や、アプリケーション指定によるアクセス制御機能の検知状況を確認することができます。
- ❑ ポリシー施行にカテゴリ化される機能は、主にお客様の業務に不要なURLへのアクセスやアプリケーション利用を制限する機能です。



## ① グラフ形式選択メニュー

画面に表示するグラフの形式を下記から選択可能

- ・ 折れ線グラフ
- ・ 棒グラフ
- ・ 円グラフ
- ・ 表 ※詳細は次ページ

## ② グラフの縦軸を選択するためのメニュー

下記の8つの項目毎にグラフを生成可能

- ゲートウェイ名
- メッセージの種類
- ユーザー名
- ポリシー名
- クライアントIP
- URLカテゴリ
- アプリID
- 処理

## ③ フィルタ設定メニュー

生成するグラフは、選択した項目でフィルタをかけることが可能  
ex)ポリシー名でフィルタをかけることも可能

  
UPLフィルタリング  
アプリケーションコントロ...

# ポリシー施行 2/2

- ❑ 表形式でログを閲覧する場合、ポリシー施行にカテゴライズされた機能が処理(アクセスをブロック)した通信の詳細を知ることができます。
- ❑ 表示したログは、CSV形式でダウンロードいただくことが可能です。

The screenshot shows the Cloud Edge Cloud Console interface. A table displays log entries with columns for time, URL category, action, and policy name. Annotations are as follows:

- ①: Points to the '列の選択' (Column Selection) button above the table.
- ②: Points to the 'CSV形式にエクスポート' (Export to CSV) button above the table.
- ③: Points to the filter selection menu on the left side of the table.

時間	URLカテゴリ	処理	ポリシー名
2017-06-23 13:36:04 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:35:12 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:35:12 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:34:51 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:34:51 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:34:03 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:34:03 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:34:03 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:34:02 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:34:02 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:33:53 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:33:36 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:33:06 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:33:06 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:33:05 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:33:05 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:33:05 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:33:01 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:32:58 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:32:58 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング
2017-06-23 13:32:55 JST+0900	Web広告	ブロック	UPLフィルタリング

## ①列の選択

- 列に表示したい項目を選択いただくことが可能です。
- 選択可能な項目は、現在下記のような項目がございます。

The dialog box shows a list of items that can be selected for display in the log table. The '処理' (Action) and 'ポリシー名' (Policy Name) items are checked.

<input checked="" type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> サーバIP
<input type="checkbox"/> メッセージの種類	<input type="checkbox"/> ドメイン
<input type="checkbox"/> ゲートウェイ名	<input type="checkbox"/> プロトコル処理
<input type="checkbox"/> ユーザー名	<input checked="" type="checkbox"/> URLカテゴリ
<input type="checkbox"/> グループ名	<input type="checkbox"/> アプリID
<input type="checkbox"/> URL	<input checked="" type="checkbox"/> 処理
<input type="checkbox"/> クライアントIP	<input checked="" type="checkbox"/> ポリシー名
<input type="checkbox"/> サイズ	<input type="checkbox"/> 送信バイト数
<input type="checkbox"/> MIMEタイプ	<input type="checkbox"/> 送信バイト数

## ②CSV形式にエクスポート

- 表示されているログを、CSVファイルとしてダウンロードいただくことが可能です。ポップアップの、緑色のマークをクリックいただくことにより、ダウンロードが開始されます。

The dialog box shows a confirmation message for exporting the log data to CSV. A green checkmark is visible in a box, indicating that the export process has started.

CSV形式にエクスポート

エクスポート履歴:  
2017-06-23 13:40:51

エクスポート

## ③フィルタ設定メニュー

- 生成する表は、選択項目でフィルタ設定可能です。

# インターネットアクセス

- ❑ 「インターネットアクセス」では、Cloud Edgeを通してアクセスしたWebサイトに関する情報を確認することができます。
- ❑ 「いつどの端末からどのサイトにアクセスしたのか」という情報までは知ることができません。



## ① グラフ形式選択メニュー

画面上に表示するグラフの形式を下記から選択可能

- ・ 折れ線グラフ
- ・ 棒グラフ
- ・ 円グラフ

## ② グラフの縦軸を選択するためのメニュー

下記の8つの項目毎にグラフを生成可能

ゲートウェイ名  
ユーザ名  
ドメイン  
クライアントIP  
URLカテゴリー

## ③ フィルタ設定メニュー

生成するグラフは、選択した項目でフィルタをかけることが可能

# インターネットセキュリティ 1/2

- 「インターネットセキュリティ」では、Cloud Edgeのセキュリティ機能（不正プログラム検知、メールセキュリティ対策、IPS、Webサイトアクセスブロック）の検知状況を確認することができます。



## ① グラフ形式選択メニュー

画面上に表示するグラフの形式を下記から選択可能

- 折れ線グラフ
- 棒グラフ
- 円グラフ
- 表 ※詳細は次ページ

## ② グラフの縦軸を選択するためのメニュー

下記の7つの項目毎にグラフを生成可能

ゲートウェイ名
メッセージの種類
ユーザ名
ポリシー名
クライアントIP
不正プログラム名
処理

## ③ フィルタ設定メニュー

生成するグラフは、選択した項目でフィルタをかけることが可能

# インターネットセキュリティ 2/2

- 表形式でログを閲覧する場合、ポリシー施行にカテゴライズされた機能が処理(アクセスをブロック)した通信の詳細を知ることができます。
- 表示したログは、CSV形式でダウンロードいただくことが可能です。

The screenshot shows the Trend Micro Cloud Edge Cloud Console interface. On the left, there is a sidebar with navigation options like 'ダッシュボード', 'ゲートウェイ', 'ポリシー', '分析とレポート', and '管理'. The main area displays a log table with columns for '時間' (Time), 'メッセージの種類' (Message Type), and 'URLカテゴリ' (URL Category). A filter menu is open on the left, showing options like '合計', '期間', 'グループ名', 'ゲートウェイ名', 'メッセージの種類', 'ユーザー名', 'ポリシー名', 'クライアントIP', '不正プログラム名', and '処理'. Two buttons are highlighted: 'CSV形式にエクスポート' (Export to CSV) and '列の選択' (Select Columns). A table of logs is shown below, with columns for '時間', 'メッセージの種類', and 'URLカテゴリ'. The table contains 27 rows of log entries.

時間	メッセージの種類	URLカテゴリ
2017-06-23 16:08:43 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 16:06:22 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 16:04:36 JS...	スパムメール対策	--
2017-06-23 14:33:45 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 14:33:44 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 14:25:50 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 14:25:50 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 14:04:41 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 13:06:33 JS...	スパムメール対策	--
2017-06-23 12:54:18 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 12:54:13 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 12:54:01 JS...	IPS (侵入防止サービス)	汎用
2017-06-23 12:52:05 JS...	スパムメール対策	--
2017-06-23 12:52:04 JS...	スパムメール対策	--
2017-06-23 12:51:53 JS...	メール不正プログラム対策	--
2017-06-23 12:51:41 JS...	スパムメール対策	--
2017-06-23 12:51:16 JS...	スパムメール対策	--
2017-06-23 12:49:11 JS...	スパムメール対策	--
2017-06-23 12:41:29 JS...	メール不正プログラム対策	--
2017-06-23 12:41:27 JS...	スパムメール対策	--
2017-06-23 12:41:26 JS...	スパムメール対策	--

## ①列の選択

- 列に表示したい項目を選択いただくことが可能です。
- 選択可能な項目は、現在下記のような項目がございます。

The '列の選択' dialog box shows a list of columns that can be selected for display in the log table. The columns are organized into two columns. The first column includes: 時間 (checked), メッセージの種類 (checked), ゲートウェイ名, ユーザー名, グループ名, URL, サイズ, MIMEタイプ, クライアントIP, サーバIP, ドメイン, and プロトコル処理. The second column includes: URLカテゴリ (checked), ファイル名, 不正プログラム名, IPSルール, 処理, ポリシー名, 送信先ポート, メールの送信者, メールの受信者, メールの件名, ERSカテゴリ, and 詳細.

## ②CSV形式にエクスポート

- 表示されているログを、CSVファイルとしてダウンロードいただくことが可能です。ポップアップの、緑色のマークをクリックいただくことにより、ダウンロードが開始されます。

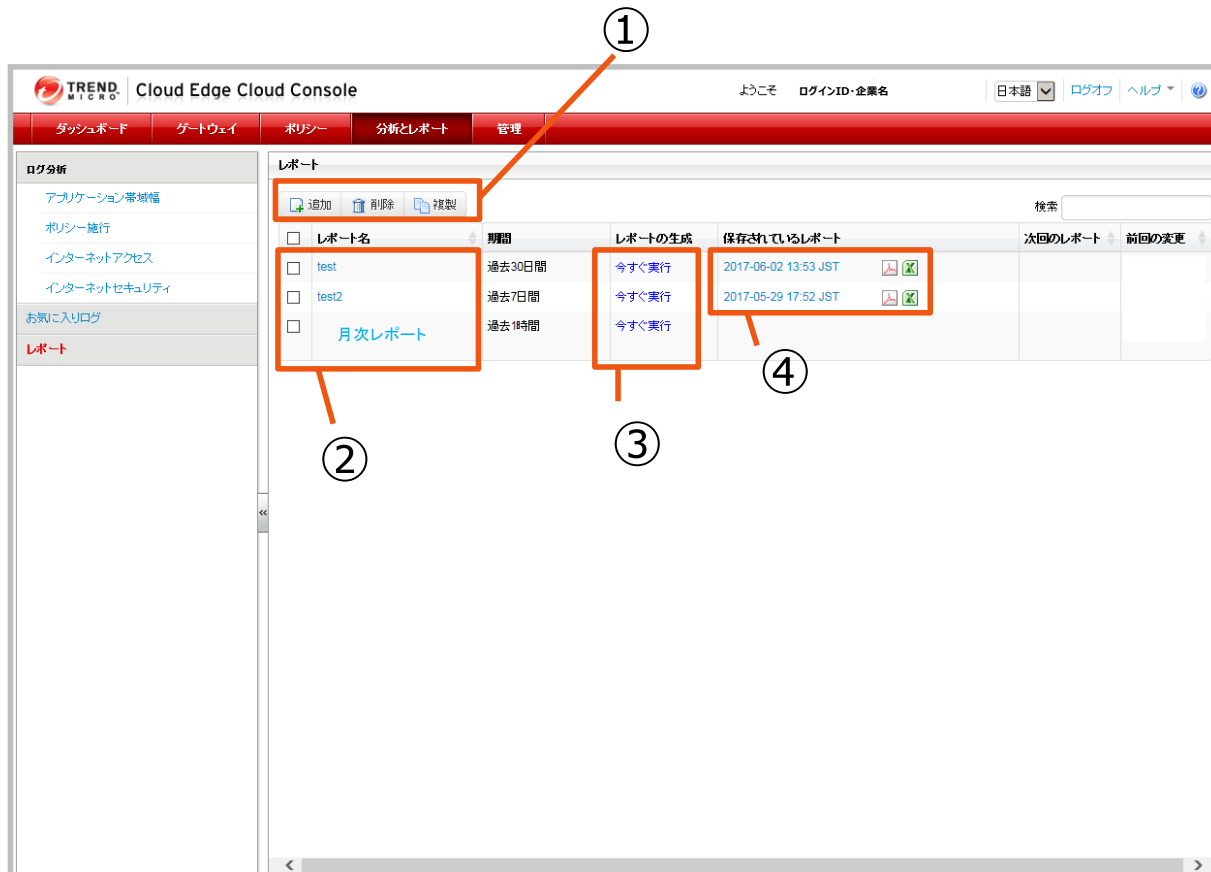
The 'CSV形式にエクスポート' dialog box shows a list of log entries with green checkmarks next to them, indicating they are selected for export. The entries are: 2017-06-23 17:03:47 and 2017-06-23 13:49:51. There is an 'エクスポート' button at the bottom right.

## ③フィルタ設定メニュー

- 生成する表は、選択項目でフィルタ設定可能です。

# レポート 1/3

- ❑ 「レポート」では、各機能より生成されたログの統計情報をPDF、CSV形式で出力することができます。
- ❑ どんな情報をレポートに出力するか[追加]アイコンより、選択することができます。
- ❑ KDDIウェブコミュニケーションズ で事前に作成している[株式会社●●●●【kUTMみまもりサポート】月次レポート]、[株式会社●●●●【kUTMみまもりサポート】サマリレポート]というテンプレートは**削除および編集を実施しないようお願いいたします**。(※削除した場合、毎月1回送付するレポートをご提供できなくなります。)



## ①テンプレート作成メニュー

- **追加**：レポートのテンプレートを追加することができます。※詳細は次ページ
- **削除**：レポートのテンプレートを削除することができます。
- **複製**：レポートのテンプレートを複製することができます。

## ②レポート名

- クリックすると、作成したテンプレートを編集することができます。

## ③レポートの生成

- **今すぐ実行**：保存したテンプレートに従って、最新のレポートを生成することができます。

## ④保存されているレポート

- **日時**：ブラウザ上でレポートを閲覧することができます。
- **ファイルアイコン**：PDF/CSV形式でレポートファイルをダウンロードすることができます。

# レポート 2/3

- ❑ 「レポート」では、各機能より生成されたログの統計情報をPDF、CSV形式で出力することができます。
- ❑ どんな情報をレポートに出力するか[追加]アイコンより、選択することができます。
- ❑ KDDIウェブコミュニケーションズ で事前に作成している[株式会社●●●●【kUTMみまもりサポート】月次レポート]、[株式会社●●●●【kUTMみまもりサポート】サマリレポート]というテンプレートは**削除および編集を実施しないようお願いいたします**。(※削除した場合、毎月1回送付するレポートをご提供できなくなります。)

The screenshot shows the 'Report' configuration page in the Cloud Edge Cloud Console. The page is in Japanese and displays various settings for report generation and delivery. The left sidebar has a 'Report' menu item. The main content area is divided into sections: 'Report Information' (Report Name, Description, Status), 'Report Settings' (Schedule, Frequency, Retention), 'Report Delivery' (Status), 'Gateway Group' (All, Specific), 'Report Basis' (All users, Specific), and 'Report Type' (All reports). At the bottom, there are 'Save' and 'Cancel' buttons.

## ①レポート情報

- レポート名:テンプレート名
- 説明:テンプレートの説明
- 有効:利用できるテンプレートの場合はオン

## ②レポート設定

- **レポート生成スケジュール:**
  - オンデマンド:前項の[今すぐ実行]をクリックした場合のみレポート生成
  - 1回:指定したタイミングで1回のみレポート生成
  - 毎日:時間や、開始日時が指定可能
  - 毎週:曜日や時間、開始日時が指定可能
  - 毎月:日付や時間、開始日時が指定可能

## ③レポート通知の送信

- レポートをメールで送信する場合、オンにし、送信先情報等を入力する。

## ④ゲートウェイグループ:

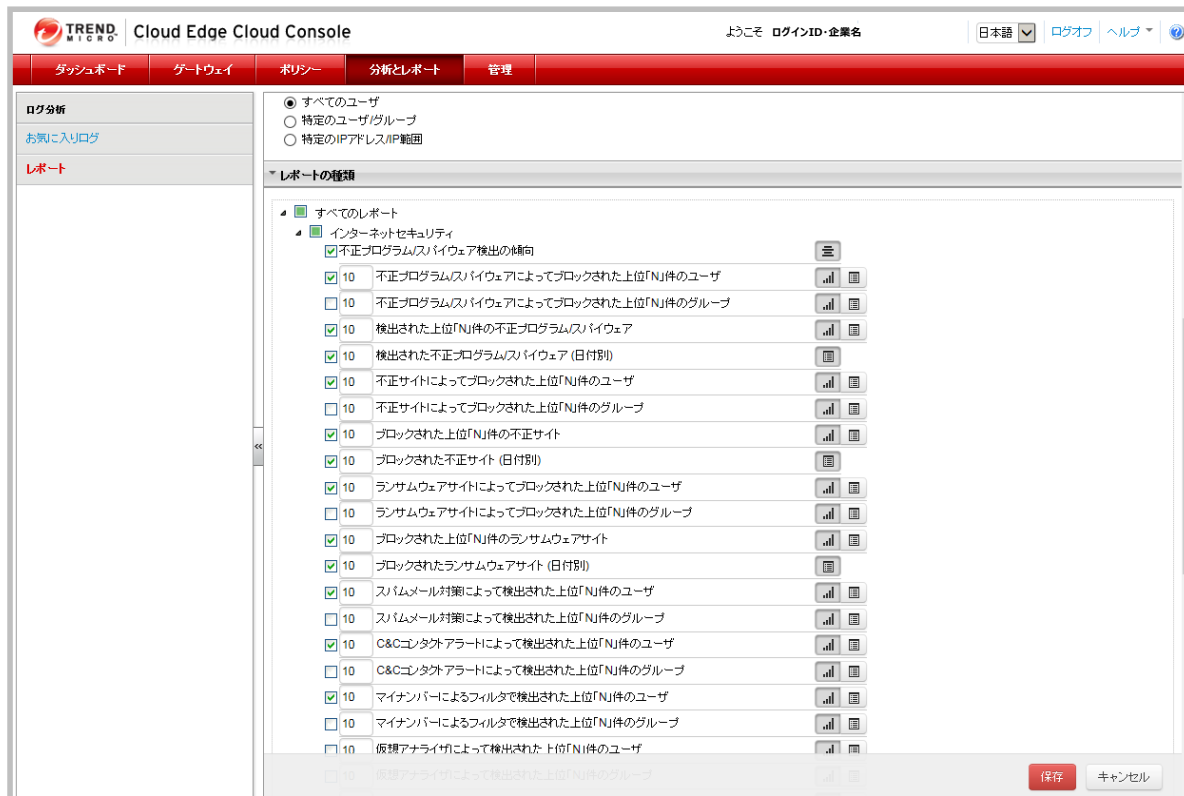
1つのレポートにまとめた機器を選択する。

## ⑤レポートの基準:

レポートに情報を書けるユーザ等の範囲を指定

# レポート 3/3

- ❑ 「レポート」では、各機能より生成されたログの統計情報をPDF、CSV形式で出力することができます。
- ❑ どんな情報をレポートに出力するか[追加]アイコンより、選択することができます。
- ❑ KDDIウェブコミュニケーションズ で事前に作成している[株式会社●●●●【kUTMみまもりサポート】月次レポート]、[株式会社●●●●【kUTMみまもりサポート】サマリレポート]というテンプレートは削除および編集を実施しないようお願いいたします。(※削除した場合、毎月1回送付するレポートをご提供できなくなります。)



- ⑥レポートの種類：  
レポートに載せたいグラフを選択することができます。